

8/8 おもやい市民花壇の新たなシンボル
～おもやい市民花壇展望台壁画完成式～

▶酷暑の中、美術部の生徒たちは8回におよぶ作業を頑張りました。



おもやい市民花壇で、海陽中美術部の生徒が展望台に制作した壁画の完成式を開催されました。美術部の3年生が中心となり、地域貢献の一環として作成したものです。おもやい市民花壇に咲く色とりどりのバラが見事に描かれ、市内外からも多くの来場者が訪れる当花壇の新たなシンボルとなりました。おもやい市民花壇の会の浦田代表は「素直な心が壁画に表れています。壁画に元気をもらいながら、愛情を込めてバラを育てていきたい」と話しました。

8/9 荒尾の国際交流に貢献します
～ALTとして2人が新規着任～

▶クレバリーさん(左)、クーパーさん(右)。



ALT(外国語指導助手)としてクレバリーアラン ダグラスさん、クーパー エイミーさんが着任しました。クレバリーさんは、ニュージーランドのオークランド市出身、クーパーさんはカナダのモントリオール市出身。今後は、すでにALTとして活躍しているシャドーストラドさん、ラさん、パドインさんとともに、市内の小中学校で英語を指導します。二人は、「日本での仕事に胸が躍ります。荒尾の国際交流を活性化していきたい」と意気込みました。

8/11 夏にぴったりのインテリアを制作
～荒尾干潟夏休み工作ワークショップ～

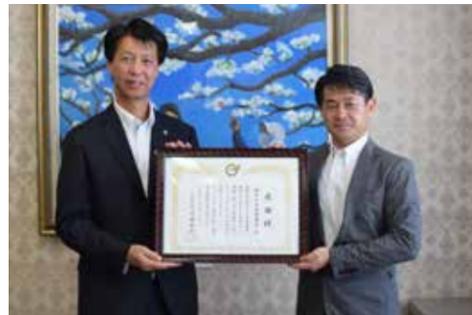
▶貝殻を使った工作に、楽しみなから取り組む子どもたち。



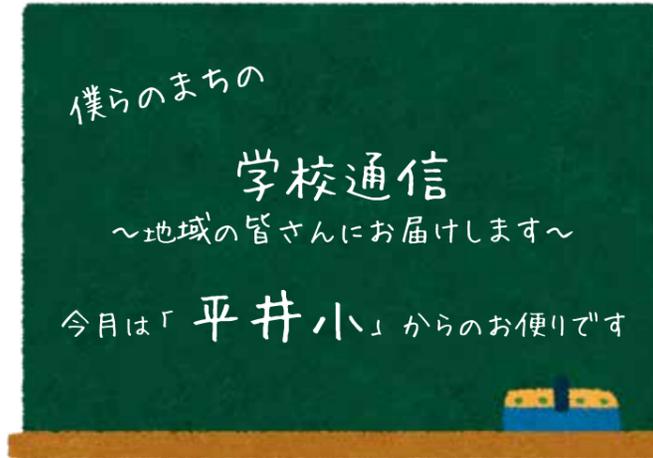
荒尾干潟の貝殻を使った工作教室を中央公民館で開催しました。はじめに、参加者は干潟に生息するさまざまな貝の種類や特徴について学びました。その後は準備されたいろいろな種類の貝殻を使い、各々が夏をイメージしたモバイルとフォトフレームを制作しました。バランスの調整や貝殻の配置に苦労する場面もありましたが、作り終えた参加者は、「部屋に飾りたいです」と満足そうな笑みを浮かべました。

8/20 地域に貢献 子ども未来基金に寄附
～子ども未来基金への寄附感謝状を贈呈～

▶今年度は、中学生の英語検定受験料に基金を活用予定です。



子どもたちが地域の中で健やかに育ち、次世代を担う人材として成長することに役立てる事業を推進する「荒尾子ども未来基金」に対し、株式会社吉村建設様から100万円の寄附がありました。代表取締役の吉村厚司さんは、「地域に貢献していくことを当たり前とすることを会社の方針にしました。地元で活躍する人材の育成に役立てていただければ」と、寄附に至った思いを話しました。浅田市長は寄附感謝状を贈呈し、感謝の意を伝えました。



全校児童145人で、創立145周年を迎えた平井小

「確かな学力と豊かな心を持ちたくましく生きる子どもの育成」を教育目標にこれからも突き進みます。

これまでの人権学習の成果やふるさとの伝統や文化、人々の温かさを生かし、全職員が「チーム平井」として一丸となり、教育活動に当たっています。特に、今年度は学力向上を目指し、新学習指導要領の改訂の趣旨と「あらおベーシック」の推進を図り、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善に取り組み、児童の学力向上を目指しています。



▲平井小マスコット「スマッピー」

また、平井地区協議会やPTA活動も盛んで、今年の「見守り隊」には50人の登録がありました。さらに、豊かな心を育むため、地域と連携協力しています。「岩本橋鯉のぼり祭り」には、1年生がオープニングに参加し、児童会総務委員が司会進行をしました。



◀5月3日、岩本橋鯉のぼり祭りのオープニングに参加しました



▲6年生の算数科の授業。主体的な学習に取り組んでいます



▲7月2日、「見守り隊」発会式

おもな内容	main contents
学校通信	2
まちの話題	3
「市長室から」など	6
万田坑フェスタを開催します	8
野原八幡宮 風流・節頭行事	9
子育てのひろば	10
保健・健康	13
市民病院からのお知らせ	16
あらおのいきいき企業	17
くまもと子ども芸術祭レポート	18
くらしの情報	20
試験・募集・イベント	24
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	29
図書館情報	30
文化センター情報	31
相談の窓口など	32
医療・あらおカレンダー	34

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
☎ 福祉課福祉係 ☎ 63-1406

荒尾市ホームページ
http://www.city.arao.lg.jp/

★荒尾市強調月間★

10月は「市民みなスポーツの月」



広報あらおは見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。